

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(3)-ア	地球温暖化防止対策の推進	施策	本県の特性に応じた温暖化防止対策の推進
			施策の小項目名	適切な森林管理及び県民主導による緑化
主な取組	造林事業			
対応する主な課題	温室効果ガス排出量の大部分を占める二酸化炭素の部門別排出量は、全国平均と比較すると、産業部門の比率が低く、運輸部門、民生部門が高くなっており、同部門に対する取組の強化が求められている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
木材生産及び水土保全その他の森林の持つ多面的機能の高度発揮のため、民有林において人工造林、樹下植栽及び保育等の森林整備を実施する。		44ha 造林等面積				
実施主体	県、市町村					
担当部課【連絡先】	農林水産部森林管理課 【098-866-2295】					
		無立木地への造林や複層林整備の実施				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名	造林奨励費						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源		
内閣府計上	補助	261,237 (5,080)	235,958	235,798	248,484	242,084	240,481	内閣府計上	R3年度： 人工造林及び樹下植栽を23.22ha実施した。また既存の造林地においては、下刈り、除伐等の保育を実施した。 R4年度： 人工造林及び樹下植栽を20.53ha実施する。また既存の造林地においては、下刈り、除伐等の保育を実施する。	
予算事業名	県営林造成費(補助事業)						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源		
内閣府計上	委託	26,754	62,710	49,184	45,470	47,658	42,461	内閣府計上	R3年度： 人工造林及び樹下植栽を3.44ha実施した。また既存の造林地においては、下刈り、除伐等の保育を実施した。 R4年度： 人工造林及び樹下植栽を3.55ha実施する。また既存の造林地においては、下刈り、除伐等の保育を実施する。	

様式1(主な取組)

予算事業名							R4年度			令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	R3年度：	
森林整備交付金事業費									R3年度：	
一括交付 金(ハード)	補助	4,121	1,247						R4年度：	
予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	R3年度：	
県営林造成費(単独事業)									R3年度： 国庫補助基準に満たない小面積の保育や補植等を実施した。	
県単等	委託	1,501	1,501	1,701	1,998	1,726	1,918	県単等	R4年度： 国庫補助基準に満たない小面積の保育や補植等を実施する。	

様式1(主な取組)

活動指標名	造林等面積(単年度実績)(ha)				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	29	35	25	23	27	40	65.0%	291,468	概ね順調	無立木地への造林や複層林整備を27ha実施し、既存造林地において下刈り475ha、除伐等45haの森林整備を実施した。
活動指標名	下刈り(単年度実績)(ha)				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
	449	465	414	449	475		100.0%	291,468	概ね順調	<p>荒廃原野等の要造林箇所の減少や、自然環境への配慮等により伐採面積が減少し再造林が減少した。</p> <p>しかし、既存の造林地においては、下刈りや除伐等の適切な森林整備を実施したことにより、二酸化炭素吸収機能の他、水源かん養機能や土砂流出防止機能などの森林の持つ公益的機能の発揮に寄与した。</p>
活動指標名	除伐等(単年度実績)(ha)				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	138	84	46	50	45		100.0%			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・早生樹種の生育状況の継続調査を実施すると共に、市町村の新規植栽地においても、生長量調査を実施し生育状況確認を行う。 ・造林補助事業の事業計画の作成において、実効性の高い計画となるよう事業主体への指導を強化する。 ・市町村等が森林作業道作設やそれに伴う新規事業を実施できるように、森林作業道等を補助に導入できる体制を整える。 						<ul style="list-style-type: none"> ・早生樹種の生育状況について植栽6年目の生長量調査を実施し、県営林において早生樹種の植栽を実施した。また、新規事業において早生樹の母樹林整備や立地環境調査等の事業を実施した。 ・県担当者、林業普及指導員及び森林資源研究センターと会議等を行い、造林事業実施基準を制定した。 ・森林作業道作設指針の制定した。また、森林作業道の作設に係る課題や要件整理等について、事業主体となる森林組合等と調整を実施した。 				



様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

内部要因	外部環境の変化
<ul style="list-style-type: none">・これまでの森林整備により森林資源が充実してきており、今後も資源の利用に向けて除伐や間伐等の適切な森林施業を実施していく必要がある。・主な事業主体は市町村であることから、事業を計画的に実施していくためには、市町村との連絡調整を緊密に行う必要がある。	<ul style="list-style-type: none">・本県林業の中核的な地域であるやんばる3村(国頭村、大宜味村及び東村)は、令和3年度に世界自然遺産へ登録されたことから、その貴重な自然環境の保全について、より一層の配慮が求められており、環境に配慮した森林施業を推進する必要がある。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

<ul style="list-style-type: none">・計画的に収穫伐採が実施できない社会情勢を加味して、森林資源の利活用と環境保全の両立を図るため、沖縄に適した資源循環型施業が実現できるよう、早生樹種の造林指針作成に資するための継続的な調査及び新規に植栽導入した市町村へのフォローアップが必要である。・事業主体である市町村において林業技師等がないため、技術的な指導等が必要である。



4 取組の改善案 (Action)

<ul style="list-style-type: none">・早生樹種の生育状況の継続調査を実施すると共に、市町村の新規植栽地においても、生長量調査を実施し生育状況確認を行う。・造林補助事業の事業計画の作成において、実効性の高い計画となるよう事業主体への指導を強化する。
--

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(3)-ア	地球温暖化防止対策の推進	施策	本県の特성에応じた温暖化防止対策の推進
			施策の小項目名	公園、街路樹等の都市緑化
主な取組	県民の森管理事業			
対応する主な課題	本県は亜熱帯性気候に属し、また地理的・地形的条件が他都道府県と異なるため、地球温暖化による影響を独自に予測・分析し、それに合った適応策を検討する必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
森林・林業の役割について自然とのふれあいを通して普及啓発を図るとともに、森林レクリエーションの場を通して次代を担う青少年の健全な育成と県民の健康増進を図るため、県民の森公園内の緑化等の施設整備及び維持管理を行う。						
実施主体	県	県民の森の施設整備、維持管理、利用促進				
担当部課【連絡先】	農林水産部森林管理課 【098-866-2295】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	県民の森管理事業費						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	
県単等	直接実施	3,500	13,303	19,961	6,968	130,452	11,774	県単等	R3年度： 森林・林業の役割についての普及啓発の強化を目的に、施設の維持管理を行うとともに既存施設のリニューアルを行った。 R4年度： 遊歩道の安全な利用や、レクリエーション機能向上のため、手すり等の改修・遊具の更新を行う。

様式1(主な取組)

活動指標名	県民の森の維持管理				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	修繕の実施	修繕の実施	修繕の実施	修繕の実施	修繕の実施	-	100.0%	130,452	順調	<p>活動概要</p> <p>森林・林業の役割についての普及啓発の強化を目的に、施設の内装や展示品のリニューアルを行った。</p> <p>利用者の安全性・利便性確保のため、炊事棟の排水施設及び用具貸出棟の汚水槽の蓋等の修繕を行った。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>個別施設計画に基づき、老朽化した内装や展示品のリニューアルを実施し、森林・林業の役割の普及啓発に貢献した。利用者の安全性・利便性確保のための修繕を実施した。取組は順調である。</p>
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・県民の森公園内で修繕が必要な箇所、利用者の安全確保に必要な場所を優先に整備する。 ・令和3年度に施設の内装展示工事を実施する。 						<ul style="list-style-type: none"> ・森林学習展示館と森林科学館の内装及び展示品のリニューアルを実施した。 ・利用者の安全性・利便性確保のため、炊事棟の排水施設及び用具貸出棟の汚水槽の蓋等の修繕を行った。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

内部要因	外部環境の変化
<ul style="list-style-type: none">・開設から30年以上が経過していることから、施設の老朽化が進んでおり、修繕が追いつかない状況である。個別施設計画に基づき、優先度の高い施設から大規模な改修を進めていく必要がある。	<ul style="list-style-type: none">・やんばる地域の世界自然遺産登録やSDGsの取り組み推進が求められる中、森林や森林の適切な管理への関心が高まっており、林業体験や森林環境教育分野の充実が求められる。・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、人が密集しないアウトドア活動に注目が集まっている。安全に自然と触れあえる施設の整備が求められている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・施設の多くが老朽化していることから、予防保全を主体とした施設管理を行い、安全性の確保並びに維持管理費用の縮減及び平準化を図り、計画的・効果的な維持管理を行う必要がある。
- ・屋外施設におけるレクリエーション活動の安全性を確保するため、遊歩道及び遊具の改修・更新を行う必要がある。



4 取組の改善案 (Action)

- ・県民の森公園内で修繕が必要な箇所、利用者の安全確保に必要な場所を優先に整備する。
- ・令和4年度に屋外施設の改修・更新のための実施設計を行う。